

「徳島県商業教育活性化プラン」(案)



■ 商品開発と特産品の販売拡大



■ 基礎基本の知識・技術の定着



■ ビジネスアイデアによる地域経済の活性化

平成23年3月

徳島県教育委員会

目 次

1. 策定の趣旨	1
2. 推進期間	1
3. 本県商業教育の現状と課題	2
(1) 商業教育の目標	2
(2) 本県商業教育の現状	2
(3) 本県商業教育の課題	4
4. 本県商業教育の目指す方向性	4
5. 本県商業教育の活性化に向けた取組み	5
(1) 商業科設置高校のネットワークの確立と中心校の充実	6
(2) 産学官連携による実践的な商業教育の推進	7
(3) 実践的なキャリア教育の推進	7
(4) 資格取得等の推進による専門性を活かした就職及び進学の実践	7
(5) スペシャリストの育成を目指した「学科の編成」	7
(6) 地域に根ざした商業教育の推進	7
6. 各商業科設置高校が取り組む活性化策	8
《参考資料1》 商業科設置高校が取り組む活性化策	10
《参考資料2》 各商業科設置高校の特色ある取組み	11

1. 策定の趣旨

本県の商業教育については、「徳島県高校教育改革推進計画（平成14年2月）」及び「高校再編方針（平成18年3月）」等を指針として、教育内容の充実に向けて取り組んできた。

また、「徳島県教育振興計画（平成20年10月）」において、本県が目指す施策の基本方針として、専門高校における職業教育の充実を位置づけ、産学官の連携などにより専門高校の活性化を促進することとしている。

さらに、経済のサービス化、グローバル化、ICTの急速な進展、知識基盤社会の到来による産業構造の変化や社会の変化が、生徒の意識の変化や進路状況に大きく影響を与えており、こうした社会の様々な情勢の変化に対応でき、地域や産業社会の発展に貢献できる人材の育成が求められるところである。

このような状況を踏まえ、平成21年度において、本県商業教育の活性化に必要な専門的な調査研究を行うため、県教育委員会事務局と商業学会等による「商業教育活性化推進委員会」を設け、商業教育の現状分析、商業教育活性化に向けた今後の取組などの検討を行い、調査報告書をまとめたところである。

このような取り組みの成果を踏まえ、本県商業教育の目指すべき方向を明らかにするとともに、その実現に向けた計画を着実に推進していくための方策として「徳島県商業教育活性化プラン」を策定する。

2. 推進期間

2011（平成23）～2014（平成26）年度

を目標とする4か年間を推進期間とする。

3. 本県商業教育の現状と課題

(1) 商業教育の目標

商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、ビジネスの意義や役割について理解させるとともに、ビジネスの諸活動を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって行い、経済社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。

(2) 本県商業教育の現状

① 現在の設置学科

本県における商業科設置高校は単独校3校、他学科との併設校4校の計7校であり、平成26年度には、再編統合により商業科単独高校が1校となる。

平成23年度商業科の設置状況

学校名	学科及び類名	募集定員(名)	併設学科及び類名
徳島商業高校	総合情報ビジネス類	295	
小松島西高校	商業科	65	食物科、生活文化科、福祉科
富岡東高校	商業科	40	普通科、看護科
海部高校	情報ビジネス科	25	普通科、数理科学科
鴨島商業高校 ^(注1)	商業科	70	
	経営情報科	30	
美馬商業高校 ^(注2)	商業科	55	
三好高校	ビジネス類	20	生物資源類
計		600	

(注1) 鴨島商業高校は、平成24年度に阿波農業高校と再編統合し、商業科(会計ビジネス科、情報ビジネス科、食ビジネス科)と農業科の併設高校(吉野川高校)となる。

(注2) 美馬商業高校は、平成26年度に貞光工業高校と再編統合し、商業科(商業科、地域ビジネス科)と工業科の併設高校となる。

② 商業科への進学希望状況

平成22年度の中学3年生の商業科への進学希望率は、7.6%となっており、3年前の平成19年度での8.6%と比較し、1.0ポイントの減少となっている。

商業科への進学希望状況

(単位：名)

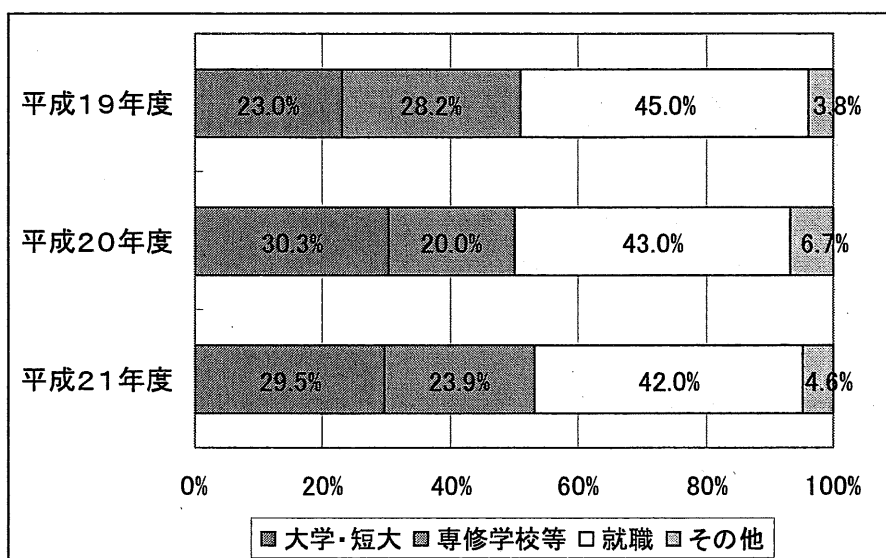
	平成19年9月	平成20年9月	平成21年9月	平成22年9月
商業科希望者数	626	620	588	534
全日制公立高校希望者数	7,254	7,045	7,134	7,032
商業科への進学希望率	8.6%	8.8%	8.2%	7.6%

③ 進路状況（平成19年度～平成21年度）

経済の国際化、ICTの進展などのなか、商業科卒業生の進路状況は、2年前と比較して大学・短大への進学者が23%から29.5%と大幅に増加した。

また、就職者は45%から42%へと若干減少しているなかで、その内約70%が県内就職者であることから、将来の地域産業を担う人材の育成の観点からは、地域産業界や地域社会との連携を通じた実践的教育を深める必要がある。

商業科卒業生の進路状況



商業科卒業生の就職者状況

(単位：名)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度
県内就職者数	214	183	196
県外就職者数	73	82	66
計	287	265	262
県内就職率	74.6%	69.1%	74.8%

(3) 本県商業教育の課題

① 商業教育の体制づくり

- 商業科単独高校での商業教育の全分野における専門性の高い教育の展開
- 地域の特性を踏まえた商業科設置高校の役割の明確化と連携
- 産学官連携による実践的な教育の実施

② 教育内容の充実

- 専門性を高める授業展開による資格取得の推進
- 地域の活性化に貢献するため、観光資源や特産品を有する各地域における特色ある起業家教育の展開
- 業務の複合化に対応するため、会計活用能力や情報活用能力などの事務処理能力の育成に加え、マーケティング能力やコミュニケーション能力の育成
- 他学科との併設のメリットを活かした特色ある商業教育の展開
- 自己実現を図るキャリア教育の推進

③ 進路指導の充実

- 効果的なインターンシップによる望ましい勤労観、職業観の育成
- 多様な進路希望や業務の複合化に対応した進路の指導
- 資格や体験的な学習活動を活かした進路の実現
- 進学率の上昇に対応した進学体制の確立

4. 本県商業教育の目指す方向性

産業構造の変化や雇用の多様化・流動化、様々な分野での国際競争の激化、少子高齢化の進行など、社会全体が大きく変化するなか、学校には、社会人・職業人として自立した人材の育成が強く求められている。

一方、若年無業者や、新卒者の早期離職が問題となるなど、「学校から社会・職業への移行」が円滑に行われていない状況も見られる。

このような状況を踏まえ、国においては、「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」、中長期的展望に立ち、総合的な視野の下、検討が行われ、平成23年1月に中央教育審議会から答申が出された。

この答申においては、高等学校の専門学科における職業教育の推進方策等として、

- 専門分野の基礎的・基本的な知識・技能の一層の定着と、「課題研究」等による問題解決能力や自発的・創造的な学習態度の育成の充実
- 地域・社会との連携を図り、体験的な学習や地域企業と連携を図った現場での長期間の実習等を通じた実践的な教育活動の実施
- 実技等を取り入れた各種検定試験制度の積極的な活用
- 成長分野等の地域ニーズに対応した学科の整備や教育課程の編成
- 教員の指導力向上のための職業教育に関する研修機会の充実

などを掲げているところである。

本県教育委員会としては、このような国の動きを踏まえつつ、本県の実情に対応した専門教育の充実に努めることとし、未来を拓くビジネススペシャリストの育成を目指す、本県商業教育の活性化に向けた具体的な取組みを着実に進めていくものとする。

5. 本県商業教育の活性化に向けた取組み

**未来を拓くビジネススペシャリストの育成を目指した
商業教育が取り組む6つの方策！！**

(1) 商業科設置高校のネットワークの確立と中心校の充実

(2) 産学官連携による実践的な商業教育の推進

(3) 実践的なキャリア教育の推進

(4) 資格取得等の推進による専門性を活かした就職及び進学の実践

(5) スペシャリストの育成を目指した「学科の編成」

(6) 地域に根ざした商業教育の推進

(1) 商業科設置高校のネットワークの確立と中心校の充実

- 平成26年には徳島商業高校が本県唯一の商業科単独校となることから、徳島商業高校を本県商業教育の中心校とした商業科設置高校のネットワークを確立することにより、研究発表会、部活動合同練習会などの教育活動及び教職員研修における連携を強化する。
- 徳島商業高校では、学科再編を実施し、商業科で学習する4分野全てにおいて、1年次から専門性の高い商業教育の実現を図る。
- 他の商業科設置高校では、専門分野での基礎・基本の充実を図るとともに、重点的に学習する分野を設定し、中心校以外の地域においても、商業4分野の学習を網羅するとともに、地域の特性や他学科との併設メリットを活かした特色ある教育を実施することで、ネットワークにおける役割分担とその連携強化を図る。

各校商業科における重点学習分野

学校名	マーケティング	ビジネス経済	会計	ビジネス情報
徳島商業高校	○	○	○	○
小松島西高校	○	○		
富岡東高校			○	
海部高校				○
鴨島商業高校	○(注1)		○	○
美馬商業高校	○(注2)	○		
三好高校				○

※商業の基礎学習分野に加えて、各校の特色に応じた重点学習分野を設定

※(注1)、(注2)は再編統合後の新学科における他学科併設のメリットを活かした重点的学習分野

【参考】商業科で学習する4分野

分野	学習内容(概要)
マーケティング	消費者の視点に立ち、そのニーズを適切に捉え、顧客満足を実現する能力を育成する。
ビジネス経済	経済社会の動向を踏まえてビジネスの機会を捉え、地域産業の振興策の創造と実施などを通して、経済社会の発展に取り組む能力を育成する。
会計	適切な会計処理を行い、利害関係者に会計情報を提供するとともに、ビジネスの諸活動に会計情報を活用するなどの能力を育成する。
ビジネス情報	コンピュータや情報通信ネットワークを適切に運用してビジネスに関する情報を処理するとともに、得られた情報をビジネスの諸活動に活用するなどの能力を育成する。

(2) 産学官連携による実践的な商業教育の推進

- 高校生の斬新なビジネスアイデアの発信
- デジタルコンテンツ作成による情報発信力の向上
- 企業と連携した実践的な金融教育の推進
- 大学等との連携による専門性向上の推進
- 教職員研修の充実

(3) 実践的なキャリア教育の推進

- 企業やNPO等でのインターンシップの実施
- 起業家、専門家の実践的指導によるビジネスマナーや専門的知識・技術の習得
- 地域貢献活動やボランティア活動の実施による倫理観、遵法精神等の育成
- 国際交流の推進等による国際感覚やコミュニケーション能力の育成

(4) 資格取得等の推進による専門性を活かした就職及び進学の実践

- 資格取得や体験的な学習を活かした就職及び国公立大学等への進学
- 系統的な学習による全商3種目1級資格取得の推進
- 補習や部活動との連携指導による日商検定、情報処理に関する国家資格取得の推進

(5) スペシャリストの育成を目指した「学科の編成」

- 新学科の設置校及び学科名

学校名	現行学科名	新学科名（仮称）	新学科の設置時期
徳島商業高校	総合情報ビジネス類	会計ビジネス科 情報ビジネス科 総合ビジネス科	平成24年4月
鴨島商業高校	商業科 経営情報科	会計ビジネス科 情報ビジネス科 食ビジネス科	平成24年4月
美馬商業高校	商業科	商業科 地域ビジネス科	平成26年4月
三好高校	ビジネス類	情報ビジネス科	平成24年4月

(6) 地域に根ざした商業教育の推進

- 地域の企業と連携した起業家教育等、実践的な教育の推進
- 地域の特産品を活かした商品開発
- 地域イベントへの参加やプロデュースによる地域活性化

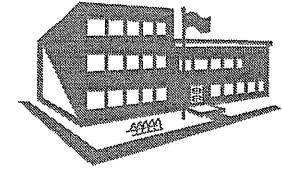
6. 各商業科設置高校が取り組む活性化策

平成26年度までの4年間に各商業科設置高校が商業教育活性化に向けて計画的に取り組む内容

学校名・取組内容・数値目標	年度別実施計画			
	H23	H24	H25	H26
徳島商業高校 ●商業教育中心校として専門性の高い商業教育の推進 ○学科再編による類コース制の改善・見直し ○日商2級、基本情報技術者試験等資格取得の推進 H21 7% → H26 15% ○全商3種目1級資格取得の推進 H21 7% → H26 25% ○地域と連携した商品開発 H21 開発開始 → H26 4品以上 ○プログラミングコンテストへの参加 ○インターンシップの充実 H21 3社 → H26 20社 ○ニューダーザクセン州との交流による国際感覚とコミュニケーション能力の育成 ○ビジネスアイデアの実践による地域経済活性化 【中心校としての取組み】 ○先進的な教育内容や教育情報の収集と周知 ○新学習指導要領に対応した商業4分野での教授法の開発と普及 ○教職員研修の充実 ○商業科ショッピングモールの企画・運営				
	推進	学編		→
鴨島商業高校（平成24年度 吉野川高校開校） ●吉野川ブランド発信に向けた実践的な商業教育の推進 ○新学科設置に向けた取組み H21 推進 → H24 開校 ○地域と連携した商品開発 H22 1品 → H26 4品以上 ○農業科と連携したネット販売の推進 ○全商3種目1級資格取得の推進 H21 4% → H26 15% ○インターンシップの充実 H21 10社 → H26 20社 ○英語スピーチコンテストによる英語力向上 ○ビジネスアイデアの実践による地域経済活性化				
	推進	開校		→
美馬商業高校（平成26年度 新高校開校） ●社会起業家の育成を目指した商業教育の推進 ○新学科設置に向けた取組み H21 推進 → H26 開校 ○地域と連携した商品開発 H21 開発開始 → H26 4品以上 ○地域と連携したネット販売の推進 ○全商3種目1級資格取得の推進 H21 5% → H26 15% ○インターンシップの充実 H21 29社 → H26 35社 ○観光ビジネスや地域イベントの推進 ○ビジネスアイデアの実践による地域経済活性化				
	推進			開校

学校名・取組内容・数値目標	年度別実施計画			
	H23	H24	H25	H26
小松島西高校 ●全国をリードする起業家教育の推進 ○地域と連携した商品開発 5品以上 ○全商3種目1級資格取得の推進 H21 10% → H26 20% ○進路ガイダンスの充実 H21 1回 → H26 2回(年間) ○就職セミナー参加率向上 H21 10% → H26 20%以上 ○各種発表会・販売実習等の実施 H21 2回 → H26 4回以上(年間) ○教職員の研修参加 H21 1回 → H26 2回以上(年間) ○中国語セミナーによる国際交流能力とコミュニケーション能力の育成 ○ビジネスアイデアの実践による地域経済活性化	→			
	推進			
富岡東高校 ●勉学と部活動の両立、活力あふれる商業教育の推進 ○資格を活かした国公立大学進学への推進 H21 2人 → H26 4人 ○全商3種目1級資格取得の推進 H20 28% → H26 40% ○セルフインターンシップの充実 H21 3日 → H26 5日(年間) ○インターンシップ報告会・各種発表会実施 H21 2回 → H26 3回以上(年間) ○公開授業、相互授業参観実施 3回以上 ○ビジネスアイデアの実践による地域経済活性化	→			
	推進			
海部高校 ●ICTを活用した地域発信型起業家教育の推進 ○企業体験プログラムによる起業家教育の推進 ○全商3種目1級資格取得の推進 H21 10% → H26 20% ○公開授業週間の拡大 H21 2回 → H26 3回以上(年間) ○進路講演会の充実 H21 2回 → H26 3回(年間) ○各種発表会の実施 H21 2回 → H26 3回以上(年間) ○ビジネスアイデアの実践による地域経済活性化	→			
	推進			
三好高校 ●情報教育の充実と、地域等と連携した実践的商業教育の推進 ○学科再編に向けた取組み ○情報処理関係国家資格取得の推進 H21 0% → H26 10% ○全商3種目1級資格取得の推進 H21 16% → H26 20% ○農商併設のメリットを活かした商品開発の拡大 H21 1品 → H26 3品以上 ○地域出張販売・訪問販売の実施 H21 2回 → H26 10回以上(年間) ○校内販売所の運営 H21 7回 → H26 15回以上(年間) ○ビジネスアイデアの実践による地域経済活性化	→			
	推進	新編		

商業科設置高校の活性化 ～徳島商業高校を中心校としたネットワーク化と連携強化～



【商業教育が取り組む6つの方策】

- (1) 商業科設置高校のネットワークの確立と中心校の充実
- (2) 産学官連携による実践的な商業教育の推進
- (3) 実践的なキャリア教育の推進
- (4) 資格取得等による専門性を活かした就職・進学の充実
- (5) スペシャリストの育成を目指した「学科の編成」
- (6) 地域に根ざした商業教育の推進

中心校

◆徳島商業高校(平成24年度 学科再編)

- 商業教育中心校として専門性の高い商業教育
- ・学科再編による類コース制の改善・見直し
 - ・日商2級、基本情報技術者試験等資格取得の推進
 - ・全商3種目1級資格取得の推進
 - ・地域と連携した商品開発
 - ・プログラミングコンテストへの参加
 - ・インターンシップの充実
 - ・ニーダーザクセン州との交流による国際感覚とコミュニケーション能力の育成
 - ・ビジネスアイデアの実践による地域経済活性化

【中心校としての取組】

- ・先進的な教育内容や教育情報の収集と周知
- ・商業4分野での教授法の開発と普及
- ・教職員研修の充実
- ・商業科ショッピングモールの企画・運営

■連携内容

- ・各種競技会に向けた合同練習会
- ・ビジネスアイデアコンテスト等の発表会参加
- ・教職員研修の充実 等

◆小松島西高校

○全国をリードする起業家教育

- ・地域と連携した商品開発
- ・全商3種目1級資格取得の推進
- ・進路ガイダンスの充実
- ・就職セミナー参加率向上
- ・各種発表会・販売実習等の実施
- ・教職員の研修参加
- ・中国語セミナーによる国際交流能力とコミュニケーション能力の育成
- ・ビジネスアイデアの実践による地域経済活性化

◆富岡東高校

○勉学・部活動の両立、活力あふれる商業教育

- ・資格を活かした国公立大学進学への推進
- ・全商3種目1級資格取得の推進
- ・セルフインターンシップの充実
- ・インターンシップ報告会・各種発表会実施
- ・公開授業、相互授業参観実施
- ・ビジネスアイデアの実践による地域経済活性化

◆海部高校

○ICTを活用した地域発信型起業家教育

- ・企業体験プログラムによる起業家教育の推進
- ・全商3種目1級資格取得の推進
- ・公開授業週間の拡大
- ・進路講演会の充実
- ・各種発表会の実施
- ・ビジネスアイデアの実践による地域経済活性化

◆鴨島商業高校(平成24年度 吉野川高校開校)

○吉野川ブランド発信に向けた実践的な商業教育

- ・新学科設置に向けた取組み
- ・地域と連携した商品開発
- ・農業科と連携したネット販売の推進
- ・全商3種目1級資格取得の推進
- ・インターンシップの充実
- ・英語スピーチコンテストによる英語力向上
- ・ビジネスアイデアの実践による地域経済活性化

◆美馬商業高校(平成26年度 新高校開校)

○社会起業家の育成を目指した商業教育

- ・新学科設置に向けた取組み
- ・地域と連携した商品開発
- ・地域と連携したネット販売の推進
- ・全商3種目1級資格取得の推進
- ・インターンシップの充実
- ・観光ビジネスや地域イベントの推進
- ・ビジネスアイデアの実践による地域経済活性化

◆三好高校(平成24年度 学科再編)

○情報教育の充実と地域等と連携した実践的商業教育の推進

- ・学科再編に向けた取組み
- ・情報処理関係国家資格取得の推進
- ・全商3種目1級資格取得の推進
- ・農商併設のメリットを活かした商品開発の拡大
- ・地域出張販売・訪問販売の実施
- ・校内販売所の運営
- ・ビジネスアイデアの実践による地域経済活性化

連携

連携

連携

連携

連携

連携

《参考資料2》 各商業科設置高校の特色ある取組み

(新学科名は仮称)

学校名 設置学科	特色ある教育 (・重点学習分野)	平成22年度 特色ある教育の取組み等
徳島商業高校 ※平成24年度 学科再編 ■会計ビジネス科 ■情報ビジネス科 ■総合ビジネス科	●専門性の高い教育の推進 ・マーケティング ・ビジネス経済 ・会計 ・ビジネス情報	○高度資格取得を目標とした取組み ・基本情報処理技術者試験、ITパスポート試験合格者輩出 ・全商検定8種目1級合格者の輩出 ○徳島市等の地域資源を活用したビジネスアイデアの提案 ・ファーストフード店の高齢者向け商品、サービスの提案 ○パラソルショップでのフェアトレード商品の販売による地域経済の活性化と国際交流 ○地域企業と連携したCM作成 (デジタルコンテンツ高校教育支援モデル事業) 【現在の設置学科・類】総合情報ビジネス類
鴨島商業高校 ※平成24年度 吉野川高校開校 ■会計ビジネス科 ■情報ビジネス科 ■食ビジネス科	●地域と連携した起業家教育の推進 ・マーケティング ・会計 ・ビジネス情報	○高度資格取得を目標とした取組み ・ITパスポート試験合格者輩出 ○阿波農業高校、地元企業と連携したネットショップ運営 ・地元特産品、藍染製品の販売 ○地元企業と連携した商品開発 ・にんにくドレッシングの開発 ○ネットショップの充実とオリジナル商品ラベルの作成 (デジタルコンテンツ高校教育支援モデル事業) 【現在の設置学科・類】商業科、経営情報科
美馬商業高校 ※平成26年度 新高校開校 ■商業科 ■地域ビジネス科	●地域ビジネス教育の推進 ・マーケティング ・ビジネス経済	○地元特産調味料「みまから」の容器、ロゴマークの考案及びネット販売による地域経済の活性化 ○地域の外国人対象「にし阿波観光モニターツアー」の実施による地域観光の振興 ○「美馬駅伝大会&クロスカントリーin美馬」のポスター、ロゴマークのデザインによる広報 ○地元特産品のプロモーション動画の作成 (デジタルコンテンツ高校教育支援モデル事業) 【現在の設置学科・類】商業科
小松島西高校 ■商業科	●商品開発及び起業家教育の推進 ・マーケティング ・ビジネス経済	○TOKUSHIMA雪花菜工房での商品開発や地域イベントのプロデュース ○中国語セミナーと国際交流によるコミュニケーション能力の育成 ○郷土文化を活用した地域文化の振興 ・藍染めを使った商品開発と販売 ○雪花菜工房PR用パンフレットや商品パッケージの作成 (デジタルコンテンツ高校教育支援モデル事業)
富岡東高校 ■商業科	●文武両道、資格取得の推進 ・会計	○高度資格取得を目標とした課外学習の積極的な実施 ・全商検定1級合格者23名(平成21年度) ○セルフインターンシップによるキャリア教育の推進 ・2年生全員が参加 ○地元商店街イベントでのボランティア活動による地域連携
海部高校 ■情報ビジネス科	●地域発信型の起業家教育の推進 ・ビジネス情報	○「企業体験プログラム」による会社設立、経営、決算までの起業家教育と、ICTを活用した情報発信 ○中国などの海外短期留学による国際交流教育 ○学校設定科目による実践的なビジネス教育の実施 ・「ビジネス実践」、「ビジネス計算」
三好高校 ※平成24年度 学科再編 ■情報ビジネス科	●地域及び農業科と連携したビジネス教育 ・ビジネス情報	○農業科が生産した野菜、加工品の商品企画、校内店舗販売、出張販売 ・校内店舗「まごころ市」の運営 ○各種競技会への積極的な取組み ・徳島県高等学校ワープロ競技会団体2連覇 ○農業科との総合選択科目導入による生徒の個性を伸ばす教育の展開 【現在の設置学科・類】ビジネス類

○徳島商業、鴨島商業、三好高校は平成24年度時点での学科名(仮称)

○美馬商業は平成26年度時点での学科名(仮称)